

滋賀県汚染土壌（ヒ素、フッ素）不溶化工事

施工内容

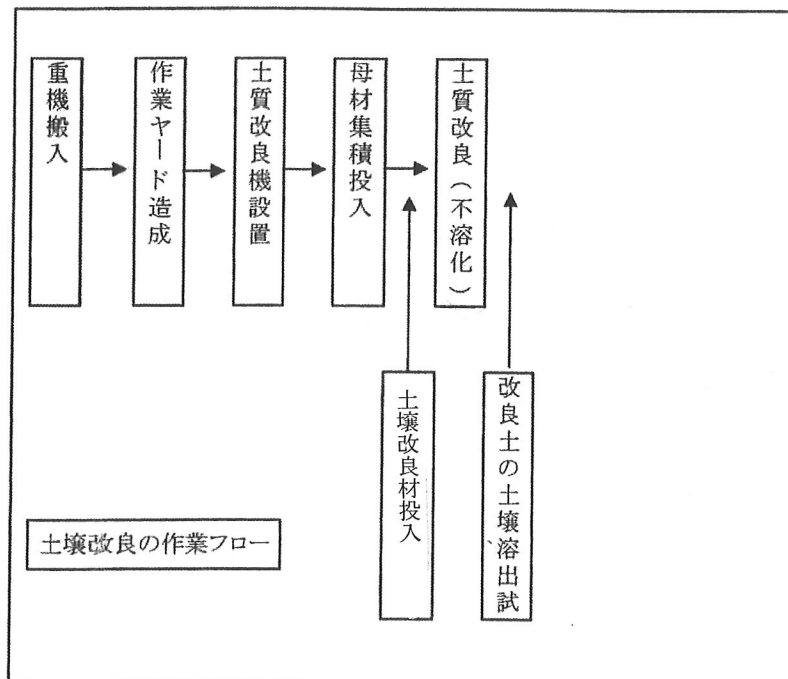
- (1) 測量・すみだし
- (2) 周辺構造物等への影響箇所への対策工・仮設工
- (3) コンクリート撤去・処分
- (4) 土壌改良機類の搬入・据付
現地の状況を確認後、機器等の配置計画を提出する。
- (5) 土壌改良（土壌改良材による不溶化）

【土壌改良材の配合計画】

機械搬入に先立ち、現地の汚染土壌を用いた室内配合試験を行い、汚染土壌1m³当りに添加する土壌改良材の添加量を決定する。室内配合試験結果については、別途報告書に整理し報告する。

【土壌改良工】

現場においては、バックホー2台および土壌改良専用機械ドライブミキシング1台鉄製水槽(10m³)3台を用いて、土壌改良材・水・汚染土と混合処理を行う。土壌改良工の作業工程フローは以下の通りである。



区画メッシュ及び汚染深度



汚染土壌事前試掘



GL-0.5

水・泥・土

(砂?)



GL-1.0m

かなり深

5±分

8/10±!

今後は・

20%?



GL-3.5

グル

CON

PS

多量

粘土状の多量

70% (粘土状)







3.5 ~

4.0

7.1

滋賀県汚染土壌（ヒ素、フッ素）不溶化工事



汚染土分級状況



水投入



土壌改良材投入



ドライブミキシングによる攪拌

ドライブミキシングによる攪拌



不溶化完了